

INSTRUCTIONAL MATERIALS SELECTION

教育委員会は、理事会の承認のための教材を選択する責任を教育長に委任する。副監督は、選択手順の確立、適切な委員会の任命、任命された委員会からの勧告の受け入れ、および教材が選択されたときの最終決定の責任を負うものとする。

また、コミュニティの教員、管理者、居住者は、カリキュラムのニーズや可能な限り最大限に提供されるさまざまな教材を使って各生徒が最大限に教育されるようにするためのプロセスに参加する多様な学生の関心。可能な限り、学生の教育カリキュラムの一部として使用される教材は、理事会の承認を得て、使用前に両親または保護者の検査を受けることができるものとする。

Definitions:

「オレゴン州法の目的のための教材は、与えられた学習コースまたはその一部のための主要な教授手段を構成する任意の組織化されたシステムと定義されています。OAR 581-011-0050。地区は、これらの資料を、書式に関係なく、印刷物や表象、視聴覚資料、電子的またはデジタル的な資料に関係なく、教科書、補足テキスト、および図書を介して学生に提供される教育コンテンツとして定義しています。これには、本、定期刊行物、新聞、写真、ビデオ、テレビレコーディング、インターネットソース、ソフトウェア、およびオーディオレコーディングが含まれます。

Core Adopted Instructional Materials: すべての教師がすべての生徒を適切に使用するために地区が採択し、支払いを行った教材。

Supplemental Adopted Instructional Materials: コアが採用した教材に加えて、地区が採用し支払った教材。これらは、標準採用期間中に採用されてもよく、後で学生のパフォーマンスデータに応じて採用されてもよい。これらの教材は、生徒のニーズと専門的な判断に基づいて教師が使用するために選択されます。

これらを組み合わせることで、教師が地区の学習目標に対処する際に教師を区別するためのさまざまなオプションをサポートするのに十分なリソースが提供されます。

Teacher-selected additional instructional materials: 地区が採用した教材に加えて、教員が個々の教室で使用するために選択した教材。

採用された教材の選択

特定の手順は研究中の特定の対象領域によって異なるが、以下の要素が存在する。

1. 地区のカリキュラム審査プロセスの一環として、教員、管理者、学生、地域社会のメンバー、そして保護者からなる委員会が設立されます。理事会は、プロジェクトチームのメンバーのリストを肯定するものとする。プロジェクトチームは、規律の特定の科目分野のために選択される

教材の必要な特性を決定するための授与を受けるものとする。そのような特性は次のものと一貫していなければなりません。

- 既存の州および地区の取締役会の方針および行政規定
- 学生の国家達成基準
- 地区のカリキュラムと教育哲学
- 州および地方の選定基準（3-3 ページを参照）に教材
- プロジェクトチームによるレビュープロセスを通じて確立されたカリキュラム領域に固有のガイドライン

2. プロジェクトチームは利用可能な材料のレビューを監督し、開発された基準を満たす材料を推奨する。
3. 検討中の資料は、関心のある住民が見直し、検討し、望むならば示唆するために一定期間利用可能でなければならない。コミュニティ住民からのコメントと勧告には、プロジェクトチームによる徹底的な配慮がなされます。また、カリキュラムレビューのプロセスとタイムラインに関する地域住民に送付される地区刊行物には、適切な注意が払われます。
4. プロジェクトチームは、推奨資料の購入のための予算を準備するものとする。費用は、州勧告に沿って必須の資料を提供するために必要な児童1人当たり支出を反映するものとする。独立した採用が推奨される場合は、上記の詳細な費用ガイドラインが適用されます。
5. 副長官は、上記委員会から推薦された資料勧告を理事会にレビューする。
6. 理事会は、各カリキュラム分野の採用サイクル中に学校で使用される教材を審査し、議論し、承認する
7. 該当する場合、教育長は、理事会が教材を単独で採用してから30日以内にODEに通知しなければならない
8. 教員は、理事会が承認した教材の中から教材を選択します。
9. すべての生徒は、教授に必要な入学資料にアクセスし、必要に応じて自宅でその資料にアクセスできる必要があります。
10. 両親は、審査のために採用されたすべての教材にアクセスできるものとする。
11. 地区は、州の基準の変更、新たな研究の変更、プログラムの変更などにより、州の採用年の間に学習目標を修正する可能性があります。地区と州の基準と学習目標の達成度の伸びが不十分であることから明らかのように、採用された教材やスタッフの開発が学生の学習を適切に促進しないと地区が判断した場合、教授と教育の副監督は、
 - a. さらなるデータ収集と分析を認可する。
 - b. さらなるターゲットを絞ったスタッフの開発を認可する。
 - c. 集められ分析されたデータに基づいて学習目標に取り組む潜在的な補足資料補充候補を検討する委員会を構成する。

12. 学校または学校内のプログラムが、州基準の達成度の伸びがないことからわかるように、採用された資料が学生のニーズを満たしていないと判断した場合、学校またはプログラムは、代わりの材料を使用することを放棄する。

権利放棄プロセス: そのような放棄を得るためのプロセスは、教授と教育のために副監督に要求を提出したプリンシパルを含むでしょう。

要求は以下を引用する必要があります

- a. 必要性の証拠を示す学生データ
 - b. 採用された資料の学校の実施努力（職員養成を含む）の歴史;
 - c. 提案された代替材料（州と地区の選定基準に準拠していることを示すチェックリストと、対象人口と目標に対する適合性を含む）。学校の代替選択の購入と維持の能力を示す予算情報。そして
 - d. 他のレベルの学校教育へのインパクト（使用中の教材の非重複のためのレベル間の合意やレベル間の合意の計画を含む）。これらの代替教材の購入および維持費は、学校の責任です。セントラルオフィスの資金援助を使用して地区で採用された教科書のみを購入することになります。3年（またはそれ以降）の代替案の「同等の資金」を採用することは、学校への新しい採用を購入することと同様です。他の学校では、この中間サイクルの資金を利用することはできません。
13. プリンシパルは、図書館資料を選択する責任を、教員、学生、および親からのインプットを受け入れるライセンスを受けたメディア専門家に委任することができる。図書館員は、文学的レビュー、推薦された書籍のリスト、および標準的な書誌ツールを調べることによって、資料を選択する。図書館資料の選択は、教育哲学、教育目的、教材の選択基準を反映しています。さらに、地区は、米国図書館協会の権利章典と米国学校図書館協会のリソースとサービスへのアクセスに関する声明を支持しています。
14. プリンシパルは、購入された技術リソースが、取締役会の方針 IIBGA および行政規則 IIBGA-AR に規定された「電子通信」のガイドラインに従って使用されるようにする責任があります。

教師が選択した追加教材

教師は、教育プログラムを補完して豊かにするために、本書に含まれている教材選択基準に従って追加の学習教材を選択するために専門的な判断を下すことができます。教師が選択したすべての追加資料は、教師が慎重にプレビューして、教材の価値が学生の年齢や教室の主題に適していることを確認するために注意深くプレビューされるものとします。これらの資料は、法的な著作権制限および出版社のライセンス契約の範囲内で使用する必要があります。親および保護者は、補足資料の使用について通知を受けなければならない、可能な限り、補助教材はすべて、使用前に保護者または保護者が検査できるようにしなければならない。

指導部は、このプロセスを支援するために教師のリソースを提供します。これらの教材は、他の教員のリソースとともに地区のウェブサイトに掲載されます。

提案された教材が地区の基準と矛盾する場合、教師は教師が選択した追加教材承認書を記入し、教師または指名者に提出しなければならない。教材の使用が承認された場合、教師はこれらの追加資料の意図された使用について親に通知します。教師は、親の要請に応じて、代替教材を提供しなければならない。

フィルム/ビデオの使用

映画やビデオの表示は、特定の教育目的に限定されていなければなりません。映画やビデオ録画のフルレングスやクリップは、コンテンツがカリキュラムや特定の教育目標に関連しており、生徒の年齢や成熟度に適している場合、授業時間の生産的な使用、および教室の混乱を招くことはありません。

1. 米国著作権法[第 110 条 (1) 条項]に準拠すると、次の公正使用要件がすべて満たされていない限り、賃貸されたまたは私有の映画またはビデオが教室に表示されないことがあります。
 - 映画やビデオは教室や指導に専念する場面での指導活動に関連して教師によって示されなければならない。
 - ムービーの表示は、カリキュラムとレッスンの目的に直接関係している必要があります。
 - 聴衆全員が教育活動に関わっていなければなりません。
 - 教師は、ビデオテープが不法に作られたと信じる理由はありません。

注：娯楽の目的で映画やビデオを見せている教育者は、著作権侵害、最高 5 年間の懲役または最高 250,000 ドルの罰金につき、民事上の法的損害賠償額で最大 30,000 ドルの賠償責任を負う可能性があります。 [17 U.S.D. § 504 - 506]

2. 教師は、以下のガイドライン*に従ってネットワークおよびケーブルテレビチャンネルから録画された番組のみを表示することができます：

- 録画されたテレビ番組は、録画日から 45 日連続して保持され、45 日の終わりに消去または破壊されなければならない。
 - 記録は、各クラスの記録の最初の 10 日間に 1 回表示することができます。教育の強化が必要な場合は、この 10 日間にもう一度表示されることがあります。
 - 最初の 10 日間の連続した授業の後、録画は、教師の評価目的、すなわち、放送カリキュラムに放送番組を含めるかどうかを決定するためにのみ使用され、生徒には示されないことがある。
 - コピーは、教師の合法的なニーズを満たすために必要に応じて、屋外で録音することができます。ただし、すべてのコピーには上記の同じ規定が適用されます。
- * 教育目的の放送番組のオフエア録音に関する連邦ガイドライン（議会記録、1981、127、p.18 24049; Talab、1986 : 37-41、116、124-125。

注：HBO や Showtime などの加入ケーブルサービスを通じて送信されるプログラムのコピーや使用は違法です。そのようなプログラムは、私的/家庭でのみ使用することができ、公立学校では使用できません。

3. スタッフは、議論の余地のある学習リソースを学生に使用させる前に、議論の的となっている課題を検討する地区評議会方針、INB に従ってください。PG、PG-13 および R 定格フィルムまたはフィルムクリップ、TV-Y7、TV-PG、TV-14、TV-MA テレビ番組または番組クリップは、本ポリシーの意味において議論の余地があり、次のガイドラインに従った親/通知/許可：
 - PG、PG-13 および R 定格の映画/ビデオまたは TV-PG、TV-14 または TV-MA テレビ番組は、小学校レベルで議論の余地があるとみなされる
 - PG-13 と R 定格の映画/ビデオ、または TV-14 と TV-MA テレビ番組は、中レベルで議論の余地があるとみなされる
 - R 定格の映画/ビデオまたは TV-MA テレビ番組は、高等学校レベルで議論の余地があるとみなされる
 - X または NC-17 映画/ビデオは、ビーバートン学区では使用できません。

G、TV-Y、またはTV-Gの評価を持つ映画やビデオ録画は、教師の裁量でどのような学年（K-12）でも見ることができます。親/保護者が映画/ビデオの視聴に同意することを拒否する生徒には、別の割り当てを提供する必要があります。

教材の選択基準

選ばれた材料は、以下の選択基準とガイドラインに基づいて慎重に評価されます。ほとんどの場合、選択された材料は、単一の資源が選択されるためにすべての基準を満たす必要はないが、以下に列挙される重要な基準を満たすべきである。材料は、弱点のために拒否されるのではなく、強みのために選択されます。これらの基準は、複数の学校での使用、単科学校の使用、個別の教室や図書館利用のための新しい資料の選択、地区への寄付資料に適用されます。

- 標準 1: 教材は、地区の一般的な教育目標、選択したプログラムの目標、および特定のコースの目的に合致し、支援と豊かさの両方を提供するものとします。
- 標準 2: 事実上の内容、教育上の意義、読みやすさ、芸術的な質や文章様式の提示、物理的なフォーマットと技術的な品質において、質の高い基準を満たさなければならない。
- 標準 3: 教材は、その教材が選択された生徒の能力レベル、学習スタイル、感情的、社会的発達に適していなければならない。
- 標準 4: 教材は、事実知識と批判的思考の成長を促進するものとする。
- 標準 5: 資料は、文学的鑑賞、社会的および審美的価値観、倫理的基準の分野での成長を刺激するものでなければならない。
- 標準 6: 選択された資料は、論議を呼んでいる意見が論争に値する場合でも、さまざまな観点の表現を含む論争の的となる問題へのバランスの取れたアプローチを支援するものとする。議論の余地のある資料を含めることは、地区の要員によるアイデアの裏付けを意味するものではありません。
- 標準 7: 材料は年齢に関係なくすべての人々の貢献を表すものとする。性別; 信念システム（例えば、宗教的、精神的、政治的、社会的） 人種、民族、文化的な起源; 社会経済的背景、多様な能力や障害などがあります。
- 標準 8: 選択された資料は、OAR 581-011-0050 から-0119 および ORS Chapter 337 で概説されているように、すべての基準および手順に準拠します。

教材の再確認

教材の選択には常に注意が払われますが、コミュニティ、教職員、または地区の管理者が、教室や図書館の教材が不適切であり、その使用の再検討を希望する場合があります。そのような場合、関係する個人は、問題を非公式に解決するために教師または図書館員に連絡しなければならないが、合意に達する方法として、問題の資料を流通から削除してはならないことを理解する必要があります。むしろ、プリンシパルは：

1. 親、居住者または職員に「図書館および/または教材の再考」の書式を記入させる。プリンシパルが懸念を表明している場合は、フォームを記入してください。
2. 教材の使用を再考するための書面によるまたは口頭によるすべての要求の受領を確認する。
3. 要求に直接関与しているすべてのスタッフに通知する。
4. 問題の議論を依頼した個人に連絡してください。ディスカッションは、教育目的で使用する教材の選択に関して、理事会方針Ⅱ/ⅡA-授業資料/教材および管理規則Ⅱ/ⅡA-AR-教材選択に焦点を当てるべきである。教材の選択基準に特に注意する必要があります。
5. 問題の材料は、正式な手続きが完了するまで、当初の意図どおりに、指定された目的のために使用され続けることを確実にしてください。

地区の方針と規制に関する議論を通じて問題が解決されない場合は、以下の正式な手続きが行われます。

1. プリンシパルは、「図書館および/または教材の再審査請求」およびその他の適切な対応を副監督に引き渡す。
2. 副監督は再審理の請求を審査する委員会を設置し、委員会の議長を任命し、問題を明らかにするために再審議を求める個人に個人的に連絡する。
3. 要請に対する最終的な措置は、元本が完成した「図書館および/または教材の再審査請求」を受領してから 25 日以内に行政機関に提出されなければならない。
4. 再審査請求を行った個人は、審査プロセス中いつでも要求を取り消すことができます。

審査委員会の設置

審査委員会委員は副補佐官によって設置され、議長を務める指導部管理者、同じ学年レベルの教員または資料の使用対象の教員、地元の学校委員およびプリンシパル。委員会には、学生も参加することができます。さまざまなカテゴリーの代表者の具体的な数は、問題のマテリアルの性質と使用に依存します。

委員会レビュー手順

1. 委員会メンバーは、教材を質問する声明のコピーを受け取る。
2. その委員会に会い、意見を述べるために、その人に質問する人またはグループに機会を与えなければならない。委員会のメンバーは、プレゼンテーションをよりよく理解し、明確にするために、プレゼンターに質問することができる。
3. 委員会会議は、審議を希望する他の職員または一般に開放されなければならない。
4. 委員会は問題の資料を審査し、全体として取り上げられた資料に基づいて意見を述べるが、文脈から抜かれた箇所には意見を書いていない。委員会は、教材を使用する生徒の年齢と発達だけでなく、適用される教授目標と教材選択基準も考慮に入れなければなりません。

5. 委員会は、勧告を作成し、行動の最終決定を下す副監督のための書面による報告書を作成する。

奪われた行為

1. 要求の処理は、委員会メンバー、要求を提出した者、および本人を含むすべての当事者に知らされなければならない。
2. 最終決定は、すべての地区の管理者に送付するものとする。

選択を再生

プレプロダクション

1. シアター・アーツ・スペシャリストは、演劇の理論的根拠/コメント・フォームを完成させ、制作またはキャスティングを公表する前に、それを建築主任に提出します。
2. 建築主体は、理論的根拠/コメント形式を見直して、教育上の価値の証拠と、建物管理者とシアター・アーツの専門家が決定したタイムリーな方法で、推薦作品のトピックの潜在的な感受性に関する懸念を特定することができます。提案されたプレイ選択のサポートが相互に合意されている場合、プロセスはステップ4に移行する必要があります(9ページを参照)。
3. 建築主体と劇場の芸術の専門家は、作品の教育的価値についての話し合いを開始し、その話題や内容に対する懸念について話し合うことができる。懸念がある場合、校長は、劇場の専門家と相談して、意思決定プロセスを支援するために会話に他の人を招待します。招待者には、サイト審議会、教室の教師、地方学校委員会、学校近隣コミュニティ、地区劇場芸術の専門家、およびサイトのプレイ選択チームによって決定されるその他の代表者が含まれます。会話の結果は、プロダクションに進むための推奨事項、または演奏のための別の選択肢を作るための推奨事項です。最終的には、本人が最終決定を担当します。
4. 劇場の芸術の専門家は、オーディションの2週間前と2または3の後に、選択されたプレイタイトルを公表する。懸念が表明されていなければ、演劇制作が進められる。コミュニティのメンバーがその期間内に懸念を表明した場合、サイトは生産計画を停止し、手順3(上記参照)でコラボレーションプロセスを開始することを決定する可能性があります。

BSD プレイ選択の根拠/コメントフォーム

1. 選択した演劇は、あなたのプログラムの教育哲学をどのように反映していますか？
2. 選ばれた演劇はどのように地区が学習目標を採用したのに合致していますか？
3. 演劇の妥当性を劇的な芸術として述べる。
4. 作品のテーマと監督の概念を説明する。
5. 兵器に似ている小道具を含め、アイテムを含めるための教育的正当性を含めます。
6. 生徒の年齢はどのように適切ですか？

7. 生産は論争に瀕していると考えられるでしょうか？（それには冒涇、性差別、人種差別的、自由主義的または保守的な問題が含まれているか、教会と国家の分離を侵害するか、論争を巻き起こすトピックを含めるか）

のリクエスト
ライブラリおよび/またはインストラクション資料の再確認

によって開始された _____
_____ 名前 電話

_____ 住所

代理 _____ 自身 _____ 組織またはグループ (名前)

質問された資料:

a. 本/雑誌の記事,
ドラマスクリプトなど: _____
_____ タイトル

_____ 著者 _____ 出版社 _____ 著作権日

b. 視聴覚素材: _____
(フィルム、フィルムストリップ、レコードなど) _____ タイトル

c. その他の素材: _____
_____ 識別する

次の質問に答えてください: スペースがさらに必要な場合は、追加の用紙を使用してください。

1. あなたはこの資料全体を見たり、読んだことがありますか? _____

2. 何に異議を唱え、なぜか: 通路やページなどを引用してください。

3. この資料の主なアイデアは何としますか？ _____

4. この資料の使用に起因すると思われるものは何ですか？ _____

5. あなたはこの資料のどのレビューをお読みにになりましたか？ _____

6. この資料は他のどの年齢層にとって適しているでしょうか？ _____

7. 地区がこの資料を取ることをどのような行動をお勧めしますか？ _____

8. その場所で、対象に関する適切な情報を提供するためにどのような資料をお勧めしますか？

署名

日付

この書式をプリンシパルに戻してください。

プリンシパルから受け取った： _____

署名

日付

学校



サンプルのペアレンタル許可フォーム
ために
教師が選択した教材

親または保護者親愛なる方：

私たちは現在、_____クラスで_____を学習しています。ビーバートン校区は、教員がボード採用のカリキュラムを補完するために豊かな教材を選択して使用することを奨励しています。あなたの子供の学習経験と理解を高めるために、私は以下を選択しました：œ 本校の使用が承認された_____（書籍、定期刊行物、ウェブリソースなど）。材料の一部には機密性の高い内容が含まれているため、その使用を通知しています。

[あなたの通知には以下も含まれていなければなりません]

- 材料のタイトル:
- 著者: _____
- 敏感な内容と重要性の簡単な説明
選択科目のレッスン/コース/カリキュラム目標への移行。

質問や懸念事項にお答えしてうれしいです。私は_____に行くことができます。
電話するのに最適な時間は_____です。

あなたの学生がレッスンのこの部分に参加することを免れたい場合にのみ、添付のフォームを返送してください。代わりの割り当てが与えられる。

敬具、

私はしたくない _____ 使用または閲覧に参加する
(生徒名前)

_____ において
(タイトル)

_____ のクラス
(教師)

親または保護者の署名: _____ 日付: _____

私は、私の生徒が別の課題を完了する責任があることを理解しています。

あなたの生徒が参加する許可を否定する場合にのみ、_____で学校に戻ってください。（日付）

映画/ビデオの使用に関する親の手紙



下記の文字は、ガイドラインに従ってフィルム/ビデオを表示するのに便利なテンプレートとして用意されています。

PG、PG-12、R 定格フィルム、TV-Y7、TV-PG、TV-14、TV-MA テレビ番組は、地区控えポリシーINBの意味で議論の余地があり、次のガイドラインに従ってください。

- 初級：PG、PG-13、R 定格の映画/ビデオ、TV-PG、TV-14、TV-MA テレビ番組
- 中学校：PG-13 と R 定格の映画/ビデオ、または TV-14 と TV-MA テレビ番組
- 高等学校：R 映画/ビデオまたは TV-MA テレビ番組の評価
- X または NC-17 映画/ビデオは、ビーバートン学区で使用してはならない

親愛なる親/親愛なる方に：

あなたの子供は現在、_____の学科の授業の一環として_____を勉強しています。あなたの子供の学習経験と理解力を高めるために、私は_____から_____（リストの日付または日付）の映画/映画の抜粋を表示する予定です。

映画は_____のために_____と評価されています（映画がどのようにレビューされたかを言及するかもしれません）。私はその学習価値を信じて、鑑賞前と鑑賞後のディスカッションやアクティビティなど、適切なコンテキストで映画が公開されることを保証します。（この映画、またはあなたが達成するのに役立つと思われる特定のシーンの学習目標を説明してください）この映画/抜粋の使用は、私どものプリンシパルによって審査され承認されています。

あなたの子供が（日付）_____までに見ることを許可または免除する下のフォームを記入してください。

あなたの娘/息子にこの映画を見せたくない場合は、適切かつ適切な代案を喜んで提供します。ご不明な点がございましたら、お気軽に電話またはメールでお問い合わせください。

敬具、

次のページへの許可伝票：

電話：

Eメール：

生徒の名前：_____

映画のタイトル

_____ 私は息子/娘が映画の映画/抜粋を見ることを許可します。

_____ 私は私の息子/娘が映画のフィルム/抜粋を見るのではなく、代わりに課題を提供することを理解している方が好きです。

署名 _____

_____ 日付 _____

教師が選択した教材
承認書



教師：この書式は、次のページに記載されている教材のための地区基準と矛盾する補足読書または映画/ビデオの教室での使用に先立って、あなたのプリンシパルまたは指定された学校管理者によって完了され、承認されなければなりません。

材料はこのクラスで使用されます： _____ 受講生の数： _____

日付材料はクラスで使用されます _____.

材料のタイプ:

____ 本 ____ 雑誌/新聞 ____ ビデオ ____ DVD ____ CD-ROM
____ オーディオテープ/CD ____ インターネットリソース ____ フィルム/ビデオ ____ テレビ録画
____ 他 (説明する)_____

タイトル: _____

著者/代理店/URL : _____

著作権の日付: _____

ソース: ____ オフエア録音 ____ レンタルまたは購入 ____ 公立図書館 ____ その他

フィルム/ビデオ/テレビ録画: _____ 全体を表示 _____ #分 _____ 評価
_____ 示された抜粋 _____ #分

ブック：書籍全体を読む _____ 選択を読むだけ、ページをリストする _____

コースの目標とカリキュラムとの関係を説明し、この教材を教室活動にどのように組み込むかを説明してください：

機密コンテンツを記述する：

____ 私はその資料を完全にプレビューし、これが合法的に得られた資料のコピーであることを証明します。

____ 私は私たちの図書館メディア教師とチェックし、可能であればレビューが添付されています。

教師の署名: _____ 日付: _____

によって承認された: _____ 日付 _____
管理者

____ 親の許可が必要

この資料は、上にリストされたクラスと共に使用されることが認められています。

ビーバートン学区 - 教材選択基準

選ばれた材料は、以下の選択基準とガイドラインに基づいて慎重に評価されます。ほとんどの場合、選択された材料は、単一の資源が選択されるためにすべての基準を満たす必要はないが、以下に列挙される重要な基準を満たすべきである。材料は、弱点のために拒否されるのではなく、強みのために選択されます。これらの基準は、複数の学校での使用、単科学校の使用、個別の教室や図書館利用のための新しい資料の選択、地区への寄付資料に適用されます。

標準 1: 教材は、地区の一般的な教育目標、選択したプログラムの目標、および特定のコースの目的に合致し、支援と豊かさの両方を提供するものとする。

標準 2: 事実上の内容、教育上の意義、読みやすさ、芸術的な質や文章様式の提示、物理的なフォーマットと技術的な品質において、質の高い基準を満たさなければならない。

標準 3: 教材は、その教材が選択された生徒の能力レベル、学習スタイル、感情的、社会的発達に適していなければならない。

標準 4: 教材は、事実知識と批判的思考の成長を促進するものとする。

標準 5: 資料は、文学的鑑賞、社会的および審美的価値観、倫理的基準の分野での成長を刺激するものでなければならない。

標準 6: 選択された資料は、論議を呼んでいる意見が論争に値する場合でも、さまざまな観点の表現を含む論争の的となる問題へのバランスの取れたアプローチを支援するものとする。議論の余地のある資料を含めることは、地区の要員によるアイデアの裏付けを意味するものではありません。

標準 7: 材料は年齢に関係なくすべての人々の貢献を表すものとする。性別; 信念システム (例えば、宗教的、精神的、政治的、社会的) 人種、民族、文化的な起源; 社会経済的背景、多様な能力や障害などがあります。

標準 8: 選択された資料は、OAR 581-011-0050 から-0119 および ORS Chapter 337 に概説されているように、すべての基準および手順に準拠します。

フィルム/ビデオ

G、TV-Y、または TV-G のレーティングを持つ映画やビデオ録画は、教師の裁量でどのような学年 (K-12) でも見ることができます。地区評議会の方針、INB、議論の的となっている問題を検討することによると、以下のレーティングを有するすべての映画、ビデオ、テレビ録画は、プリンシパルと親の事前の承認/許可が必要です。

- 初級 : PG、PG-13 および R 定格の映画/ビデオまたは TV-PG、TV-14 または TV-MA テレビ
- 中学校 : PG-13 と R 定格の映画/ビデオ、または TV-14 と TV-MA テレビ番組
- 高校 : R 映画/ビデオ、テレビ-MA テレビ
- X または NC-17 映画/ビデオは、ビーバートン学区で使用してはならない

教師は、教育プログラムを補完し充実させるために、教材選択基準に従って理事会が採択した教材に加えて、教材を選択するための専門的判断を用いることができます。学生の教育カリキュラムの一部として使用されるすべての教材は、次のものでなければなりません。

- 地区理事会の方針である II / IIA と INB に従って選択され使用されています。
- インストラクショナルな価値が学生の年齢や教室の主題に適していることを確認するために、先生がレビューしました。
- 両親に連絡し、可能な限り、補足資料はすべて、使用前に生徒の親または保護者が検査できるようにしなければなりません。

提案された資料が地区の基準と矛盾する場合、教師は教師が選択した教材承認フォームを記入し、教員または主任者に提出しなければなりません。教材の使用が承認された場合、教師はこれらの補足資料の意図された使用について親に通知します（サンプルレター参照）。教師は、親の要請に応じて、代替教材を提供しなければならない。

評価

G、TV-Y、または TV-G レーティングの映画またはビデオ録画は、教師の裁量で任意の学年（K-12）で視聴できます。

地区理事会方針、INB、議論的となっている問題を検討するために、以下の格付けを有するすべての映画、ビデオ、またはテレビ録画は、上記のとおり、プリンシパルと親の通知と許可を事前に承認する必要があります。

小学校

フィルム/ビデオ: PG, PG-13,R
テレビ: TV-PG, TV-14, TV-MA

中学校

フィルム/ビデオ: PG-13, R
テレビ: TV-14, TV-MA

高校

フィルム/ビデオ: R
テレビ: TV-MA

ビーバートン学区には、X または NC-17 の映画/ビデオは表示されません

フィルム/ビデオ使用

映画やビデオの表示は、特定の教育目的に限定されていなければなりません。映画やビデオ録画の全編またはクリップは、コンテンツが

- カリキュラムと具体的な教育目的に関連
- 生徒の年齢や成熟度に適しています
- クラス時間の生産的な使用と教室の混乱を引き起こさない

米国の著作権法（セクション 11D1）を遵守するには、次の公正使用要件がすべて満たされていない限り、賃貸されたまたは私有の映画またはビデオが教室に表示されないことが必要です

- 映画やビデオは教室や指導に専念する場面の指導活動に関連して教師によって示されなければならない
- ムービーの表示は、カリキュラムとレッスンの目的に直接関係している必要があります
- 聴衆全員が教育活動に関与しなければならない
- 先生は、ビデオテープが不法に作られたと信じる理由はありません

法的事項:

娯楽の目的で映画やビデオを見ている教育者は、著作権侵害、最高 5 年間の懲役または最高 250,000 ドルの罰金につき、民事上の法的損害賠償額で最大 30,000 ドルの賠償責任を負う可能性があります。（17 U.S.C. dd504-5061）

教材

これらの資料は、印刷物または表現上のオーディオビジュアルや電子的またはデジタルの資料を含む形式にかかわらず、教科書、補足テキスト、図書館の書籍を介して学生に提供される指導的な内容として地区 AR II / IIIA で定義されています。

これには、本、定期刊行物、新聞、写真、ビデオ、テレビ録音、インターネットリソース、ソフトウェア、サブスクリプションデータベース、オーディオ録音が含まれます。

教材選択基準

選ばれた材料は、以下の選択基準とガイドラインに基づいて慎重に評価されます。

ほとんどの場合、選択された材料は、単一の資源が選択されるためにすべての基準を満たす必要はないが、右に列挙される重要な基準を満たすべきである。

材料は、弱点のために拒否されるのではなく、強みのために選択されます。

これらの基準は、複数の学校での使用、単科学校の使用、個別の教室や図書館利用のための新しい資料の選択、地区への寄付資料に適用されます。

選択基準とガイドライン

- 標準 1: 教材は、地区の一般的な教育目標、選択したプログラムの目標、および特定のコースの目的に合致し、支援と豊かさの両方を提供するものとして提供されます。
- 標準 2: 事実上の内容、教育上の意義、読みやすさ、芸術的な質や文章様式の提示、物理的なフォーマットと技術的な品質において、質の高い基準を満たさなければならない。
- 標準 3: 教材は、その教材が選択された生徒の能力レベル、学習スタイル、感情的、社会的発達に適していなければならない。
- 標準 4: 教材は、事実知識と批判的思考の成長を促進するものとする。
- 標準 5: 資料は、文学的鑑賞、社会的および審美的価値観、倫理的基準の分野での成長を刺激するものでなければならない。
- 標準 6: 選択された資料は、論議を呼んでいる意見が論争に値する場合でも、さまざまな観点の表現を含む論争的となる問題へのバランスの取れたアプローチを支援するものとする。議論の余地のある資料を含めることは、地区の要員によるアイデアの裏付けを意味するものではありません。
- 標準 7: 材料は年齢に関係なくすべての人々の貢献を表すものとする。性別；信念システム（例えば、宗教的、精神的、政治的、社会的）人種、民族、文化的な起源；社会経済的背景、多様な能力や障害などがあります。



